

「日本内視鏡外科学会」理事長就任にあたって

日本内視鏡外科学会
理事長 北野正剛

2010 年を迎え、新たに理事長を拝命しました。

振り返ると本会は 1991 年 3 月、出月康夫代表世話人のもと、明治記念館で開催された「第 1 回日本内視鏡下外科手術研究会」に遡ります。当初は年 2 回開催され、外科医の新たな手技の開発への熱気とともに発展しました。1994 年 6 月、京都で成功裏に「第 4 回世界内視鏡外科学会」を終えたのち、研究会を引き継ぐ形で出月康夫初代理事長のもと 1995 年 2 月に各科横断的な学会として再出発しました。そして会員から望まれる学会誌の編集と他の学会に先駆けて行った 2 年に一度の“全国アンケート調査”により高い評価を得てきました。そして、2004 年より北島政樹理事長のもと、新規事業として技術認定制度やガイドラインの発行さらには英文誌の発刊を行うとともに、2008 年 9 月には皇太子殿下御臨席のもと、横浜で「第 10 回世界内視鏡外科学会」の開催など大きな事業が着々と進みました。



この間、さらに飛躍的な発展を遂げ会員数も一万人を超え、この専門領域で世界最大の学術団体となりました。

これまでの 20 年の歴史を踏まえ、新たに出発した理事会のもと、将来に向けて多くの事柄が検討されています。学会法人化に係る評議員選出法、技術認定制度の整備、英文誌による世界への情報発信など重要な案件が山積みです。また、この分野の発展に欠かせない産学連携、医工連携をさらに推し進めたいと考えています。

最後に、理事長就任にあたり本会会員でよかったとだけいただけるような会の運営を目指し、全力でことに当たり、さらなる会の発展と国民の福祉の向上に尽くしてまいりたいと考えています。

会員皆様のご協力とご支援をお願いしてご挨拶といたします。